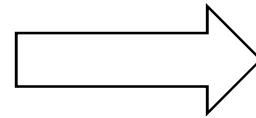


前回までに出された意見の整理

1. 検討の方向性についての確認

■魅力を活かした地域住民の交流に関わる取組の検討

・中原区の魅力資源を活用した新旧住民や多世代交流の取組内容を検討する。



■情報発信の方法の検討

・新旧住民や多世代交流の取組についての情報発信方法を検討する。

2. 前回出された意見の確認

分類	前回までに出された取組の意見(アイデア)	
	取組	内容
魅力を活かした地域住民の交流に関する意見	中原区の魅力を伝える紙芝居をつくったらどうか	中原区の歴史や文化財、行事などを親子で楽しめるような冊子、紙芝居などをつくり、区内の小中学校やこども文化センター等に置いたらどうか。
	中原区の魅力を描いたカルタをつくったらどうか	中原区の魅力資源を表した「なかはらかるた」を作成し、区内の学校やこども文化センターで活用してもらったらどうか。 なかはらかるたの大判を作成し、区民祭などで行われる大会を開催するのが良いと思う。 過去にカルタをつくったことがあるが、今の中原区に合わないということなので改めてつくったらどうか。
	史跡等を巡るマップがあると良い	寺社を巡るコースや散策コースを記しているマップがあると良い。
	中原の魅力を紹介する動画があると良い	中原区の歴史や文化、自然など魅力を紹介する動画があると良い。動画については、パソコンやスマートフォン等でいつでも見られるようにする。また、公共施設のモニターでも流すことが考えられる。
	中原区のものづくりを知ってもらう機会が必要である	中原区のものづくりについて、親子で知ることや体験ができるような機会をつくる必要があると思う。
	区内をまわるのにボランティアガイドがあると便利である	リタイヤした団塊の世代の人がたくさんいるので、そのような人たちがボランティアガイドになって、中原区の魅力を案内してもらうことが良いと思う。
	中原区の魅力を通じた地域住民の交流が必要である	中原区は、新しい住民が増えているので中原区の魅力を通じた新旧住民の交流を図りたい。
	中原区に由来がある商品も魅力資源とする	丸子の渡しのお菓子や福来醤油などが売っているので、このようなものも中原区の魅力資源としてPRすることも大事である。
	なかはらの歌などすでにある地元の歌を知ってもらうことが必要である	なかはらの歌の中には、中原区の魅力が唄われているので、区民に知ってもらう機会をたくさんつくる。具体的には、区内の学校の音楽の時間などで取り上げてもらい、なかはらの歌を区民になじみのあるものにする。
情報発信に関する意見	情報が多くの人の目につく場所に置く ホームページの更新情報を知らせる仕組みが必要である	チラシなどは、もっと一般の方が目につくようなところに置いた方が良い。保育園や幼稚園などに置けば、親子の目に付くと思う。 ホームページの情報が更新されたら知らせるような仕組みがあれば良い。 魅力と言っても人によって違うので、必要だと思う魅力の情報が届く仕組みが必要である。
	大規模なイベントや企業、団体の活動と連携してPRする	PRの方法として企業や団体の活動趣旨に乗かって（一緒になって）行くと有効なときもある。たとえば、等々力競技場で川崎フロンターレの試合が開催されているときに合せて、中原区の魅力をPRするブースなどがあれば多くの人の目に留まる。
	マスコミを活用する	中原区の歴史や文化に関連するものを開運なんでも鑑定団のようなマスコミに取り上げてもらうように働きかけることが良いと思う。
	団体の活動を知る機会をつくる	中原区では、魅力資源で交流する活動はいろいろやっている。しかし、それが区民に伝わっていないということが課題だと思う。そこをどうするか検討するべきである。
	メディアネットワークを活用する	中原区の魅力のPRにメディアネットワークを活用する。また効果的な活用方法を検討する必要がある。

市民(市民活動団体)が主体もしくは、市民と行政が協働で取組む交流方法を検討する。

具体的な取組の検討(資料2)

有効な情報発信の方法を検討する。